

問

代表質問を令和元年6月20日に開会した第2回定例会本会議で行いました。

代表質問

議案の審議に先立ち、各党派を代表する議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。

以下、その一部を掲載します。

また、2次元バーコードから、各質問者の録画映像をご覧いただけます。

足立区議会自由民主党

足立区に夢と希望を。

自由民主党 ただ太郎 議員



区長4期目を迎えての決意を

【問】区長は、当選後に「少子高齢化、東京五輪後の不透明な経済・景気等、これからの区民ニーズに的確に応えたい」と強い意気込みを述べていた。

①これまでの3期12年間の成果をどのように評価しているか。

②4期目を迎えた今、これからの区政運営に向けた決意を伺う。

【区長】

①良い意味での変化を一定程度もたすことができた。課題克服と魅力創出の双方からのアプローチが相乗効果を生み出したと総括している。

②山積している課題の解消、解決に向けて力強く踏み出し、リーダーシップを発揮していく。

積立基金の重要性を示せ

【問】基金を貯め込みと批判する声もあるが、持続可能な財政運営のためにしっかりと備えておくことが行政の責任と考える。①基金とはどういった性質の財源であるのか。

②今後どのように活用するのか。

③現在高の将来見通しを伺う。

④基金の必要性を正しく理解してもらうことが重要だがどうか。

【政策経営】

①竹ノ塚駅付近鉄道立体化等、長期間にわたり、多額の資金を要する事業の財源を安定的に確保し、財政負担の平準化を図るものである。

②年度間の財源不足を調整する

ための財政調整基金以外は、避難所となる学校体育館のエアコン設置等、条例で定められた区民サービスに欠かすことのできない特定の目的のみに活用する。

③東京五輪後の景気後退と税制改正の影響から、区の減収が見込まれており、ここ数年をピークに減少に転じざるを得ないと想定している。

④広報等あらゆる機会を通じて、基金の重要性や目的を分かりやすく伝えていく。

子どもの通学路に安全対策を

【問】①区では、通学時の安全対策をどのように考えているか。

②園児等の歩行環境の点検結果と今後の対応について伺う。

③道路路面標示の文字が欠損する等、必要な注意喚起に支障が生じている箇所がある。早急に確認し、復旧すべきだがどうか。

【学校運営】

①交通ルール等の指導助言を行うとともに、警察署に見守り継続を要請している。また、防犯カメラ増設のほか、散歩中ながら見守り等、新たな視点での安全確保策の実施に向け、保護者や地域に協力を要請していく。

【子ども】

②区内全保育施設に對して危険箇所等の調査を実施し、延べ700箇所危険を感じているとの回答があった。今後は、標識や信号機の設置等を管轄の

警察署に要望していく。

また、区道等については現地確認を行ったうえで、緊急度の高い箇所から必要な対応を実施し、安全を確保していく。

【道路整備】

③7月中旬に調査・確認し、警察と協議のうえ、通学路等、優先度の高い所から順次、復旧を進めていく。



選挙前の審査を厳格にせよ

【問】区議会議員選挙において、住所要件を満たしていない立候補者への投票を無効とした。当初より区外に住所を有すると表明しており、要件を満たしていない事は明白であった。

①なぜ、そのような立候補届を受理したのか。

②なぜ、被選挙権が無い事を、投票前に周知しなかったのか。

③多くの投票が無効となり、区民の貴重な一票が失われてしまった結果について、見解を伺う。

【総務】

①最高裁判所の判例により、立候補届出の際は居住実態の有無の審査を行うことができず、受理せざるを得なかった。

②高等裁判所の判例により、選挙の自由公正を害するという理由から、違法行為と解され、有権者への周知はできなかった。

③誠に遺憾である。現行の公職選挙法等では、事態を防ぐことができないため、総務省へ法改正の要望の提出を検討していく。

大規模災害へのさらなる備えを

【問】平成29年の台風21号では、中川が氾濫危険水位を超えたため、初めて避難勧告を発令した。今後、想定外の水害、大規模災害のさらなる備えが必要である。

【危機管理】

①大雨等による水害発生が想定される中、迅速かつ的確に行動するため、これまでの取り組みを強化すべきと考えるがどうか。

②南海トラフ地震等、大規模災害の発生が想定される中、職員の意識啓発も含め、新たな取り組みが必要と考えるがどうか。

③今年3月に区総合防災行政アドバイザーを採用し、さらにNPO環境防災総合政策研究機構「CeMI」と委託契約を行う予定である。これにより、気象防災情報の提供や、防災の専門家の支援を受けることが可能となる。今後も迅速かつ的確に対応できるよう、災害対策の強化を図っていく。

④全職員を対象に、災害発生時にどのような行動を取るかを想定するイメージトレーニング型訓練を実施する予定である。

また、区民には都が作成した東京マイ・タイムライン等を活用し、水害発生を想定した備えについて、啓発していく。

施設連携で江北を健康のまちに

【問】①江北中学校跡地に保健センター及び休日診療所と医療連携施設を整備するが、東京女子医科大学の新医療センターとは、どのような連携を想定しているのか。

②本庁舎にも地域の医療機関と介護関係者の連携支援を目的とした相談窓口を置いているが、新施設ではどのような機能、業務を想定しているのか。整備スケジュールと併せて伺う。

【衛生】

①極小未熟児や、がん治療経験者等の患者会への支援や、最前線のがん治療等の講演会を想定しているが、他の連携についても協議を重ねていく。

②本庁舎の在宅医療支援窓口に加え、基幹地域包括支援センター等の機能を集約する。

また、研修機能も新たに加え、医療・介護スキルアップ研修等を実施し、高齢者を支えるための人材確保・育成を行っていく。

施設全体の整備は、今年・来年で基本・実施設計、令和3年に工事着手、令和4年度中の竣工、開設の予定で進めている。

地域の自慢となる綾瀬駅前を

【問】①駅前正面には、マンション建設ではなく、賑わいをつくり出せるよう事業者提案すべきだがどうか。

②駅前道路は、タクシートの客待ちでの路上駐車や送り迎えの車寄せが無い等、多くの課題を抱えている。タクシールールや、バスロータリーを含む交通広場の整備が必要と事業者提案・要望すべきだがどうか。

③地域の想いを反映した開発・まちづくりを進めるべきだが、区の考えと決意を伺う。

【政策経営】

①事業者よりハンケツト整備は困難という回答があり厳しい状況ではあるが、引き続き、区民が集える施設の誘致や商業施設による賑わいをつくり出せるよう、様々な手法を検討し、積極的に交渉していく。

【市街地】

②駅前広場の整備は効果的だと考えている。まちづくり協議会の意見を踏まえ、事業者へ提案・要望していく。

【政策経営】

③区民アンケートやまちづくり協議会で意見をくみ上げ、早急にまちの将来像を策定した上で、あらゆる可能性を視野に入れ、事業者と交渉する等、最善の努力をしていく。



発展のタイミングを見逃すな

【問】北綾瀬駅では、代々木上原方面への直通運転が開始され、駅舎の改修工事も進み、区内外で関心が高まっていると聞く。周辺は、農地や低・未利用地等も多く伸びしろがあり、北綾瀬エリアの発展を考えると、駅前交通広場の設置が望まれる。エリアデザイン計画でも可能性を検討するところだが、状況を伺う。

【政策経営】

土地所有者に賑わいづくりを視野に入れた交通広場整備の可能性を打診し、調査を行うことを了解いただいた。そこで、測量・交通解析等の整備に向けた検討作業を開始し、その結果をもとに改めて土地所有者に協力を仰いでいく。

地下鉄8号線の実現を

【問】①地下鉄8号線の実現に向けた課題と、その課題にどのように取り組んでいくのか伺う。

②葛西用水沿いの新駅設置の具体的な検討は進んでいるのか。

③新駅設置に動いていることを積極的に周知すべきだがどうか。

【鉄道立体】

①課題が3点ある。

用語解説 *パンケット：宴会、婚礼または大規模な会議を行える部屋や施設